

「わたしが命のパンである」

[わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない]

- ヨハネ6・24-35

今日の福音書で、イエスは「私は命のパンである」と言われました。私たちが生きるために食べ物が必要なように、イエスは私たちの魂にも食べ物が必要だと教えています。

主は私たちの基本的なニーズに気を配っておられたのは間違いないです。飢えた群衆のためにパンと魚を増やされたとき、主はそのことを示されました。

しかし、主は霊的な食べ物も用意されました。それは、体を満たす食べ物他に、魂を養わなければならないことを伝えたかったのです。そこでイエスは、私たちの魂の栄養となるために、ご自身の力を尽くして聖体のパンの中に住まわれることにしたのです。

私たちの多くは、物質的な必要性、名声や富の追求に気を取られて、精神的な必要性を見落としているのです。

「私は永遠の命のパンである」とイエスは言っています。イエスの中に私たちの究極の幸福、究極の充足、究極の安全があるのです。偉大な聖アウグスティヌスは、自らの経験を踏まえてこう言いました。"主よ、私の心があなたの中に落ち着くまでは、落ち着かないのです"

